

～学校運営協議会と地域学校協働本部の一体的推進を図るために～ 合同研修会を開催！

学校運営協議会と地域学校協働本部の一体的な推進を図るために、令和8年度も合同開催として、8月17日（月）におおみやコミュニティセンター多目的ホールにおいて、学校運営協議会委員及び地域学校協働本部委員の合計66名が研修会に参加しました。

講師に水戸教育事務所主任社会教育主事の羽石 康弘先生、主査の佐々木 英治先生をお招きし、羽石先生からは「夢のあるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」をテーマに、県内外の取組事例や地域と学校の連携・協働体制の必要性、一体的な推進の意義についてご講話いただきました。佐々木先生からは「育てたい子供像を共有し、学校と地域が連携した取組を考えよう」をテーマに熟議を行い、熟議で成果を得るための具体的な進め方についてのご指導をいただきました。

熟議に先駆けて、同じ役割を持つ委員同士で、活動内容と課題について情報交換を行いました。異なる学校区の同じ立場の方々が話し合うことにより、気づきや共通の課題を見つけることができ、有意義な時間となりました。

熟議は学校毎に参加者を14のグループに分け、各校のグランドデザインを基に「育てたい児童・生徒像」を決め、その実現に向けた地域学校協働活動を1つ考えました。熟議をしたことで、学校と地域の共通認識ができ、活動につながる熟議となったグループが多くありました。

最後に、先生方から「皆様が既に持っているAgency（意義ある意図的な行動を起こす力）は、子供たちと関わることで良い影響が必ず出てくる。そこにコミュニティ・スクールの大いなる可能性が期待されている。学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的な推進を図るためには、学校と地域が折り合いを付けることである。学校と地域の願いを合わせて、無理なくできる人ができるときに、持続可能な活動にしていきたい」という激励のお言葉をいただきました。



【講話の様子】



【熟議の様子】

※ コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校のことです。